

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月28日

事業所名 多機能型事業所 きらめき読谷

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	1	6	バギーを外に出したり医療機器の配置場所等事故にならないよう配慮している。	ベッドが多く活動を行うには狭いが、来年現通所場所へ移動する予定。 放デイが帰ってくると活動スペースが狭くなるので、児童が過ごしやすい環境を工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である		2	6	基準より多めに配置しているが急な欠員時の体制も整えている。	学校送迎時にスタッフが抜けると見守りが手薄になる。産休に入るスタッフもいるため早急にスタッフの補充をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		2	ホールにはできるだけ物を置かないようにし、こまめに環境整備を行っている。	児童の人数や活動に合わせてスペースの工夫をし、児童のケガや事故にならないよう整理整頓を徹底します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	1	職員が多く参加できるように曜日や時間を設定している。	カンファレンスに全員が参加できるようにシフト調整し、参加ができなかった職員からは個別に意見を聞き取るようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2		貴重なご意見を参考に改善に繋げている。	アンケートの結果を事業所会議で周知を行うことで業務改善を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	1	ホームページにて公表	毎年ホームページにて公表予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	6	法人内で部門を統括している職員による評価は定期的に行っている。	第3者は設置していない。まずは、保護者からのご意見を参考に改善を図っていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	2	会社全体の共通研修や事業所内での勉強会を行っている。	研修を受ける時間の確保に課題があり、業務時間内に全員が受講できるように調整していきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			普段から保護者との情報交換を心がけて必要な支援が行えるようにしている。	継続し担当者会議や事業所内でのモニタリングを通して多角的な視点からアセスメントして計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4	1	発達段階早見表を参考にしている。	標準化されたツールを職員間で共有し活用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	1	保育士を中心に計画を皆で立てている。	保育士を中心に作成しているので、会議時に多くの職員の声を参考にできるようにします。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		新しい遊びを毎月取り入れるよう工夫している。	児童が飽きないように活動に変化を持たせ、色々な体験が出来るようにしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	4		祭日、土曜日などはゆっくり過ごせるので活動を工夫している。	今後お出かけなど外出の計画なども多く取り入れていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	2		活動内容は個別又は集団の目標を立てている。	今後も継続して児童の状況に合わせた個別活動と集団活動を組み合わせしていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	1	朝の朝礼時に一日の活動内容や情報共有を行っている。	全員の時間確保が難しい場合は、事前に役割を決め準備している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4		緊急の申し送りは、送迎先から現場に連絡を入れている。	送迎時間に合わせた退勤時間の為気づいたことは管理者に報告して情報共有に努めていきます。が必要時、その場で話し合うようにし、情報に漏れがないように心がけている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2	1	日報、看護師記録、リハ記録を毎日残している。	日報に個別の支援記録を記載。その際、出来たこと、出来なかったことを記載することで振り返りが可能な状態にしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			3ヶ月～6ヶ月おきのモニタリング会議実施	上記の日報を基に、日々の様子を振り返り、目標の達成状況を確認し見直ししている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	4		様々な基本活動を組み合わせている。	ニーズに応じた活動を組み合わせ、PDCAサイクルを実践しています。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1		基本児発管が参加している。	管理責任者、看護師、PTなども参加している。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			学校行事の、変更がある時は保護者にも確認している。	下校時の迎えの引継ぎや電話連絡で確認を取るようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3	1	受け入れ時に当事業所ができるケアを説明し保護者了解のうえ受け入れている	医療的ケアの指示書を保護者を通してもらっているが主治医との連絡体制は不十分。必要に応じて適宜連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	2	担当者会議への参加で情報共有している。	今後も会議等を通して情報共有し、必要な支援が継続できるように努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	4		担当者会議への参加で情報提供している。	必要に応じて、相談員等を通して支援記録やアセスメント等の情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	3	療育医療センターの機能訓練においては見学させて頂いている	身体障害児が多く、発達障害支援センターとの連携は不十分なので、必要な研修などに参加できるようにしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	7	コロナ禍の為機会がなかった	常に医療的ケア児も利用しているため感染対策に配慮しながら交流の機会を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5	2	法人職員が参加し情報共有をしている。	読谷村のこども部会に参加。これからも連携を行っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			連絡帳や送迎時にデイの様子や情報交換を行っている。	連絡帳を用いることや送迎時に学校の行事等を保護者から聞き取り、職員で共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	3	困っている事、支援についての意見をいつでも聞けるように声掛けを心がけている。	ペアレントトレーニングという形ではないが、必要に応じて個人的に支援を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		契約時に一緒に読み合わせし疑問があればその場で応えられるようにしている。	契約時以外にも日頃から利用に関わるご質問に丁寧に説明できるよう準備してまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			専門的なことは、調べるなどして答えている。	保護者より声掛けがあった時は専門職等と連携し助言を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	3	今年度は家族交流クリスマス会を実施した。	他事業所の取り組みも参考にして父母会、保護者同士の交流の場を設けていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			管理者にすぐ報告して対応するようにしている。	連絡帳や、送迎時での保護者との会話の中でこまめに報告しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	5	1	連絡帳で発信するようにしている。	月間で発行する活動プログラム表と一緒に発信出来るようにしていきます。
	35	個人情報に十分注意している	8			個人情報は鍵付きキャビネットで保管している。	個人ファイルに関する書類は、鍵付きキャビネットに保管されています
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			様々なツールまたは児童の生育歴から知る情報からコミュニケーションに繋げている	今後も絵、カード等、様々な工夫をして児童、保護者とのコミュニケーションを図っていききたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	7	積極的な取り組みできていない	感染対策を考慮しながら計画していきたい。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	3		緊急対応訓練を取り入れ、感染症については厚労省のマニュアルをもとに社内検討し取り入れている。防犯マニュアルについても社内全体で細かな情報共有しながら対策に繋げている。	マニュアルは作成できているが保護者、職員へ周知出来るように努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		年間計画に組み込んでいる。	周囲の他事業所と合同訓練も年2回計画し実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	2	虐待防止の研修を行っている	受講する時間確保など体制を整えていきます。

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			必要な児童に対しては契約時に保護者承諾書をもっている。	必要な児に対して保護者に3つの条件を説明し承諾書をもっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	1	契約時に保護者に確認し対応している。	保護者からの情報収集はしているが、医師の指示書はないことが多い。保護者確認を徹底し職員間での報連相を強化していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			ヒヤリハット、事故があった時は、早い時期にスタッフで振り返りを行っている。	ヒヤリハット報告ファイルの保管場所を決めて全職員へ周知します。また発生時は会社への報告を徹底させ事故予防に努めていきます。